

●課題目標

	現 状	目標値
・生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している人の割合を減らそう	全体 5.9% →	4.7%
多量飲酒習慣のある人 (>アルコール60mg)	男性 12.3% →	9.9%
	女性 0.8% →	0.6%
・適度な飲酒量を知っている人の割合を増やそう	33.4% →	100.0%
・アルコールが及ぼす健康影響について知っている人を増やそう		
肝臓障害	90.8% →	} 100.0%
すい炎・糖尿病	73.4% →	
心疾患	53.7% →	
高血圧	70.1% →	
胃腸障害	61.0% →	
がん	47.7% →	
脳機能障害	48.0% →	
睡眠障害・うつ病	35.8% →	
依存症	74.7% →	
・未成年者の飲酒者をなくそう	— →	0.0%
・妊娠中の飲酒をなくそう	— →	0.0%

●個人（家族）の取り組み

- ・妊娠中、授乳中は飲酒はしません
- ・子どもの手の届くところに酒は置かず、子どもに飲酒はさせません
- ・子どもの前で、適量以上の飲酒はしません
- ・お酒の飲める人にも飲めない人にも、無理にお酒を勧めません
- ・定期的に健診を受け、酒に関するアドバイスを受ける機会を持ちます



●個人を支える周囲の取り組み

- ・妊娠時期、乳幼児健診時にアルコールに関するアドバイスやパンフレットの配布、ポスターを掲示します
- ・妊婦教室での禁酒指導を徹底します
- ・アルコール依存症は病気であることの周知を行います
- ・アルコールに関する相談機関の充実を図ります
- ・アルコール依存症及び家族に対する支援体制を整えます
- ・20歳未満の子どもに、酒を勧めない、売らない運動を進めます

